

令和7年第1回松野町議会臨時会会議録 1日目

招 集 年 月 日	令和7年1月23日
招 集 の 場 所	松野町議場兼大会議室
開 会	令和7年1月23日 午前10時27分宣告
応 招 議 員	1 番 加藤 康幸 5 番 安西 博文 2 番 森岡 健治 6 番 山石 恭助 3 番 山崎 匡 7 番 赤松 紀幸 4 番 山田 寛二
不 応 招 議 員	
出 席 議 員	1 番 加藤 康幸 5 番 安西 博文 2 番 森岡 健治 6 番 山石 恭助 3 番 山崎 匡 7 番 赤松 紀幸 4 番 山田 寛二
欠 席 議 員	
説明のため出席した者の職・氏名	町 長 坂本 浩 副 町 長 八十島 温夫 総 務 課 長 友岡 純 ふるさと創生課 井上 靖 町 民 課 長 芝 吉彦
職務のために議場 に出席した事務局 職員の職・氏名	議会事務局長 森本 秀行 書 記 岡崎智恵子
会議録署名議員	議長、次の両議員を指名 6 番 山石 恭助 7 番 赤松 紀幸
会 期 の 決 定	令和7年1月23日（1日間）

◇ 議事日程

1 開 会 宣 言

2 町長議会招集挨拶

3 諸 般 事 項 報 告

4 開 議

日程 番号	議案 番号	議 案 名
1	—	会議録署名議員の指名
2	—	会期の決定
3	議案 1	令和6年度松野町一般会計補正予算（第5号）

5 閉 議

6 閉 会

議 長	ただいまから、令和 7 年第 1 回松野町議会臨時会を開会します。
	(1 0 : 2 7)
議 長	町長から、議会招集挨拶を受けます。
坂 本 町 長	「議長」
議 長	「坂本町長」
坂 本 町 長	それでは議会の開会に当たりまして議長のお許しをいただきましたので、一言御挨拶を申し上げます。 本日、令和 7 年第 1 回臨時議会を開催いたしましたところ、議員各位には何かと御多用中にもかかわらず、御出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。 この年末年始は本町では比較的温かな日和に恵まれ、コロナ禍も収まりつつあることから、帰省された御家族を交えて、にぎやかに過ごされた御家庭も多かったのではないのでしょうか。改めて平和な日々感謝するとともに、新しい年もこの穏やかな日々が続くことを願っております。 1 月 3 日には、成人式を開催いたしました。希望と自信に満ちあふれた新成人の皆さんのりりしい姿を見て、頼もしく、また喜ばしく感じたところです。町内の若者が生きがいを持って住み続けることができる町、町外の若者がいずれ帰ってきたいと思える町、そういった町になるように、にぎわいと安らぎに満ちたふるさとづくりにまい進していかなければならないと気持ちを新たにいたしましたところです。 町内各部落では、それぞれ部落総会が開催され、区長さんはじめ役員が交代されたところもありました。私も、全ての部落総会にお邪魔して御挨拶を申し上げ、その中で、地域づくりの基礎単位は部落であるとの考えをお伝えし、行政内部分権、協働のまちづくりを推進することへの御理解、御協力をお願いいたしました。どうぞ議員各位におかれましても、シビックプライドの醸成、住民が主役、地域が舞台のまちづくりに格段の御支援を賜りますようお願い申し上げます。 さて本日御提案申し上げます案件は、物価高騰対応重点支援地方創

	生臨時交付金を財源に、低所得世帯等に対する特別給付金事業や地域応援商品券配布事業などの物価高騰対策に関する補正予算を提案いたしております。 よろしく御審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。 て、議会招集の挨拶といたします。 どうぞよろしくお願いいたします。 次に、今期臨時会に関する諸報告をします。 まず、今期臨時会に提出される案件を報告します。 今回提出される案件は1件であって、この議案番号、件名の詳細は、お手元に配布しております議事日程表により御承知をお願いします。 続いて、本日の議事日程を報告します。 本日の議事日程は、あらかじめ配布しました議事日程表のとおりです。御承知をお願いします。 次に、地方自治法第121条第1項の規定により、本日の会議に出席する者は、お手元に配布しております一覧表のとおりです。御承知をお願いします。
議	長 これから、本日の会議を開きます。(10:31)
議	長 日程第1 「会議録署名議員の指名」を行います。 会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、6番山石恭助議員、7番赤松紀幸議員を指名します。
議	長 日程第2 「会期決定の件」を議題とします。 お諮りします。 本臨時会の会期は、本日1日間にしたいと思います。 御異議ありませんか。 (異議なしの声) 異議なしと認めます。 したがって、本臨時会の会期は、本日1日間に決定しました。
議	長 日程第3 議案第1号「令和6年度松野町一般会計補正予算(第5号)」を議題とします。

坂 本 町 長 議 長 坂 本 町 長	町長に提案理由の説明を求めます。 「議長」 「坂本町長」 それでは議案第 1 号「令和 6 年度松野町一般会計補正予算（第 5 号）」について、提案理由を御説明申し上げます。 今回提案いたします補正予算は、物価高騰の影響を特に受けている低所得世帯に対する経済的支援事業の経費を追加するほか、消費回復を目的とした消費喚起キャンペーン事業や、経営に影響を受けている事業者が経営安定化を図るための支援事業など、急を要する諸事業の補正を中心に編成をしております。 歳入歳出予算の補正額は 6 千 8 0 3 万 4 千円の追加で、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ 4 7 億 7 千 6 1 2 万 2 千円にしようとするものです。 まず歳出補正予算について説明を申し上げます。 3 款民生費の社会福祉総務費では、食料品などの物価高騰に直面し影響を特に受ける低所得世帯に対し、その実情を踏まえて生活の支援をするための低所得世帯等支援臨時特別給付金給付事業、3 千 8 9 5 万円を追加しております。 次に、7 款商工費の商工振興費では、エネルギーや食料品などの物価高騰で疲弊した消費活動を回復させるために、町内の事業者や店舗で利用できる森の国松野町地域応援商品券を、町民 1 人当たり 5 千円分を配布するため、事業実施主体である商工会に対する森の国松野町地域応援商品券配布事業費補助金 2 千 1 8 万 4 千円などを計上するほか、中小企業者や小規模事業者を支援するためのエネルギー価格等高騰対策事業者支援補助金 8 9 0 万円を追加しております。 今回提案させていただいている事業につきましては、物価高騰の影響により低迷している町内での消費を回復させるとともに、各家庭への経済的支援や各事業所の事業継続につながるものと期待をしているところであります。
--	---

議長 7 番 赤 松 議長 7 番 赤 松 井上ふるさと創生課長 議長 井上ふるさと創生課長	これらに対応いたします歳入補正予算として、14 款国庫支出金 6 千 3 4 5 万 3 千円を充当し、最終の財源調整として、10 款地方交付税 4 5 8 万 1 千円を計上しております。 以上、よろしく御審議を賜り、承認いただきますようお願い申し上げます。 これから、本案に対する質疑を行います。 「議長 7 番」 「赤松議員」 お聞きしたいと思いますが、まず、1 点目が森の国松野町地域応援商品券配布事業補助金についてお伺いします。この事業の説明では、令和 7 年 4 月 1 日において、住民基本台帳に記載されている住民に対し、1 人当たり 5 千円の商品券配布をするとなっておりまして、令和 6 年 1 2 月 3 1 日時点での人口は 3 4 8 4 人ですが、予算計上は 3 0 0 人余り多い 3 7 9 5 人で予算化されております。また、昨年度に実施された今回と同様の事業でも、人口 3 7 5 0 人が実績となっているようですが、その理由をお聞かせ願いたいと思います。 次にエネルギー価格等高騰対策事業支援補助金についてお伺いします。 本事業は昨年と同じ事業が実施されておりますが、今回の事業と比べて大きく違う点は、昨年の 1 年間のエネルギー経費が 2 0 万以上 6 0 万未満の補助区分が新たに設けられていますが、これは町独自の考えの変更なのかどうかをお聞きしたいと思います。 あわせて昨年は大半が、交付金で充当されておりましたが、今回は約半分しか交付金対応となっていて、残りの半分は一般財源となっております。これについて御説明をお願いしたいと思います。 以上、よろしく願いいたします。 「議長」 「井上課長」 はい。ただいまの赤松議員さんの御質問に対しての答弁をいたしま
--	---

す。

まず、森の国松野町地域応援商品券配布事業の件についてでございます。算出根拠、令和6年12月31日時点では、現在対象人口これは住民基本台帳に載っている人口ですが3484人、今回の算定ではそれより多くの基礎の数値をつけております。やはり、理事者側としては予算の計上の際にですね、この3ヶ月間の移動の人数というところで、いろいろ推計をするわけでございますが、1番避けなくてはならないのが、予算が少なくて、執行ができないとかというところで今回この余裕をもった計上になっております。

あわせて松野町エネルギー価格等高騰対策事業者支援金についてでございます。

前回と要件が支援金の対象となる方の要件、前回やらせていただいた時は、年間のエネルギーの費用が60万円以上の事業者の皆様、今回20万以上の事業者の皆様に変更しております。これは町独自の施策でございます。このやっぱり20万円以上にした経緯につきましては、これまで事業活動において60万円以上っていうのが、なかなかハードルが高いという御意見を多数前回の事業の時にもいただいております。その点で、事業を実施している方でいろいろと聞き取りとかしたところによりますと、20万円以上というのがですね、年間のエネルギー経費20万以上というのが、事業活動では1番低いぐらいの数であるということをお聞きをしております。なるべく多くの事業者の皆様に対象となっていくべく、年間のエネルギー経費が20万円以上かかる。あわせてですね、支給の要件の中で、年間の事業収入にも触れておるんですが、個人事業主であれば50万円以上、法人ですと240万円以上というところでですね、前回の個人事業主の年間の事業収入のところもハードル、というか、下限を引下げをさせていただきまして、なるべく多くの事業者の皆様に対象になるように考えて今回、制度設計させていただきました。

以上、答弁終わります。

7 番 赤 松	「議長」
議 長	「赤松議員」
7 番 赤 松	今ほどのエネルギー高騰対策の補助金ですが、その中でもう一つ財源のこと質問ちょっとお答え願いたいと思います。
井上ふるさと創生課長	「議長」
議 長	「井上課長」
井上ふるさと創生課長	はい。
	今回の制度設計をしたところで、どうしても松野町に配分の今回の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金の枠がございましたので、まずは商品券のですね、配布事業、こちらに全額充当するというのが私たちの考えでございます。この中でもう1点の松野町エネルギー価格等高騰対策事業者支援金につきましても、想定される事業者のマックスで予算のほうを計上させていただいております。で、前年度の執行率等も勘案しながら、なるべく一般財源の支出っていうのは、抑えていきたいところではございますが、予算計上の場においては、それぞれの事業、最大限に支出するところで算定をさせていただきましたので、その際に、エネルギー高騰対策事業者支援金のほうにつきましては、一般財源のほう458万1千円を現在のところ充当して予算化をしている。これ事業執行後におきましては、精算した時に、一般財源がどれぐらい圧縮できるか、そういったところも注視しながらやっているところではございますが、事業設計する段階におきましては、考えうる対象者マックスの、最大限の数字で算出した結果、一般財源の投入も現在のところは生まれているというところではございます。1番の考えうる最大限の予算計上というところでの結果でございます。 以上です。
7 番 赤 松	「議長」
議 長	「赤松議員」
7 番 赤 松	今の説明でしたらエネルギーの高騰対策につきましては、今、満度で考えられる満度で補助を出した場合に一般財源が必要となるとい

	うこと、というのは交付限度額といいますか、そういうことが影響しているということだろうと思いますが、でしたら今の段階では74事業者を想定をされておるということですが、昨年度も、この事業を実施された折には、予算化は95件の1千450万円を予算化をされておりましたが、結果といたしましては24件ということで、大変、3分の1ぐらいの実績しか上がっておりません。そういうことを踏まえて、今回、20万から60万を増やされたのかという気がいたしますが、少しでも事業者を救済するといいいましょくか、補助、金額面で補助を交付するという趣旨からいえば、極力申請を上げていただくのがベストとは思いますが、そこら辺、交付金事業というのは、国の事業でほぼ賄えるというのが一つの魅力でございます。厳しい財政、町の財政を踏まえた時には、極力交付金で対応していかなれますよう望むわけでございますが、そこら辺をいって踏まえて、今後計画をしていただいたらと思います。 それともう1つ、あわせましてお聞きしたいのが、昨年度の商品券の配布事業で、配布額に対する換金率いいですか、商品券配布して実際に使われた比率でございますが、それが93%でございます。ということで、ほとんど商品券のほうは配布をすれば、使っていただくのかと思っておりましたが、まだ130万円余り換金をされてない方がございます。 その理由について何か分析をされておりましたら、そこをお聞かせ願いたいと思います。
井上ふるさと創生課長	「議長」
議 長	「井上課長」
井上ふるさと創生課長	はい。
	まず、松野町エネルギー価格等高騰対策事業者支援金についてでございますが、今回要件をなるべく広く御利用していただけるように拡充させていただきましたので、御利用していただく方、増えることを予想しております。交付金事業と合わせて町の一般財源をつぎ込むわ

		けでございますから、松野町内で回るお金を増やしていくというところで、副次的な効果を期待しているところでございます。 そして次の地域応援商品券配布事業について、93%の利用率っていうところ、こういった要件で93%上っているのか。いや、あるいは7%の方が何で使えなかったか、というところもございますが、どうしても身体的要件とか、いろいろなことが考えられます。お買物に行きづらいとかですね、そういったところですね、ございます。あるんじゃないかと分析をしているところでございます。その辺りですね、産業部だけではなくてですね、様々な福祉部局とかにもですね、いろいろと連携をしながら、どう使っていただけるのかというところを使っていただく率をどうやって上げていただくのかいう、言い換えれば、この商品券を活用していただきまして、少しでも家計を支援させていただく。あるいは町内の商店の皆様に還元ができる、そういったところをですね、追求、今回はしていきたいと思いますので、現在のところの分析っていうのはそういったところが1番の大きな要因ではないかということを考えております。 以上です。
7	番 赤 松	「議長」
議		「赤松議員」
7	番 赤 松	3回になりましたので、この事業が事業効果が上がるように是非取り組んいただきたいということをお願いして質疑を終わります。
議		ありがとうございます。
	長	これで、質疑を終わります。
		お諮りします。
		ただいま議題となっております議案第1号は即決したいと思います。
		御異議ありませんか。
		(異議なしの声)
議	長	異議なしと認めます。

議 長	したがって、議案第１号は即決することに決定しました。 続いて、本案に対する討論を行います。 まず、原案に反対者の発言を許します。 （反対討論 ～ なし） 次に、原案に賛成者の発言を許します。 （賛成討論 ～ なし）
議 長	討論なしと認めます。 これから、議案第１号を採決します。 本案を原案のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。 （起立 ～ 全員）
議 長	起立全員です。 したがって、議案第１号「令和６年度松野町一般会計補正予算（第５号）」は、原案のとおり可決することに決定しました。
議 長	これで会議を閉じます。 （１０：５０） 町長から閉会挨拶の申し出がありますので、これを許したいと思えます。
坂 本 町 長	「議長」
議 長	「坂本町長」
坂 本 町 長	それでは、第１回臨時議会の閉会に当たりまして、議長のお許しをいただきましたので一言御挨拶を申し上げます。 議員各位におかれましては、何かと御多用中にもかかわらず御出席を賜り、本日提案いたしました議案につきまして、原案のとおり全会一致で議決いただき厚くお礼を申し上げます。 現在海外に目を向けると、トランプアメリカ大統領の就任をはじめ、中東・ウクライナでの紛争、韓国大統領の逮捕など、様々な出来事により各国の政情は安定しているとは言い難く、また国内では、少数与党による政権運営によって、今後の政治経済が不安定化する見方もあり、我々も地方にどのような影響があるのか、十分に注視して参りたいと考えております。

議 長	現在令和7年度予算の編成時期でありまして、明日からは理事者査定の予定です。限られた財源の中で取捨選択を行い、優先順位をつけながら予算を確定し、来る3月定例議会におきまして当初予算を提案させていただく予定ですのでよろしくお願いをいたします。 大寒を過ぎましたが、まだまだ寒さは続きます。議員各位におかれましては、体調を崩されませんよう御自愛いただきたいと思います。 また、今後更なる御支援、御協力をお願い申し上げまして、議会閉会の御挨拶といたします。 ありがとうございました。 以上で、令和7年第1回松野町議会臨時会を閉会します。 (10:52) 地方自治法第123条第2項の規定により署名する。 松野町議会議長 加藤 康幸 第1日目 松野町議会議員 山石 恭助 同 上 赤松 紀幸
------------	---